

研究課題名

「胆道癌に対する右3区域肝切除術前の、肝右葉門脈塞栓に追加して施行するS4門脈枝の塞栓術：肝S2、S3の腫大についての効果」
に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年1月1日～2017年11月30日の間に、胆道癌術前の経皮経肝門脈塞栓術(PTPE：percutaneous transhepatic portal vein embolization)を当院で施行された方のうち、右3区域塞栓あるいは右2区域塞栓を施行された方

2. 研究目的・方法

目的：当院で施行されている右3区域肝切除術前の門脈塞栓術において、内側区域枝(P4)塞栓を行うか行わないかで温存区域である肝外側区の腫大の程度に差がでるかどうかを検討します。

方法：右3区域塞栓をした群と右2区域塞栓を施行した群を抽出し、PTPE前後での肝外側区の体積変化をCT画像から計測し両群間で比較します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

CT画像、年齢、性別、身長、体重、病歴、化学療法の有無、血液検査結果、PTPEに伴う合併症の有無 など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

伊藤 準（医学系研究科博士課程総合医学専攻量子医学／医員）

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

Tel：052-744-2328

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院放射線科 駒田 智大